

## 第3期久留米市障害者計画進捗状況（平成30年度評価報告）

### 1. 全体

現計画は、平成30年度から令和5年度までの6年間、「誰もが自分らしく生きがいを持ち 支えあいながら 安心して暮らし続けられる まちの実現に向けて」を基本理念とし、その実現に向け、5つの基本目標を設定し、157の施策に取り組んでいる。

進捗状況の評価にあたっては、施策毎の計画期間中の実施状況、課題分析を含む取組状況を所管課において総括するとともに、4段階の達成度評価基準を設け、評価した。なお、自己評価については、年度ごとの実施計画に対する評価であり、計画満了時の目標に対する評価ではない。

達成評価基準の評価基準と、各施策の評価ごとの分布は次のとおりである。

達成度評価基準		件数	割合	達成(S・A)割合
S	目標を上回った、又は高い成果が得られた（100%以上）	12	7.6%	82.9%
A	ほぼ目標は達成した（80%～100%）	119	75.3%	
B	目標の達成には至らない、成果が出るまで時間を要する（60%～80%）	24	15.2%	
C	取組に着手出来なかった、又は施策内容を見直したため、目標が達成出来ない	3	1.9%	

※件数は、1施策に2つの内容があるものを2施策とした数

### 2. 基本目標別

#### 基本目標1 壁をなくし認め合って生きるために

分野	施策区分	施策の方向	施策件数	達成度			
				S	A	B	C
啓発・広報	ノーマライゼーションの意識啓発の充実	障害者理解・配慮のための啓発・広報活動の推進	6	0	6	0	0
		福祉教育の充実	3	0	2	1	0
	情報アクセシビリティの向上	情報アクセシビリティの推進	8	0	5	2	1
生活環境	障害者にやさしいまちづくりの促進	施設などのバリアフリーの推進	3	0	2	1	0
		移動・交通に関わるバリアフリーの推進	5	2	3	0	0
		住まいのバリアフリーの推進	2	0	2	0	0
合計		件数	27	2	19	5	1
		割合（%）	100	7.4	70.4	18.5	3.7

障害者基本法の趣旨を踏まえ、人の心の障壁や、情報の取得・意思疎通に係る障壁、建物や道路などの生活環境上の障壁の除去に向けて27の施策に取り組んでいる。

重点施策の1つである「ノーマライゼーションの意識啓発の充実」については、ほ

ほぼ目標を達成しているものの、点字通知が必要な方に関する情報の一元化への意向調査ができていないなど「情報アクセシビリティの向上」について、目標の達成に至っていないものが見られた。

## 基本目標2 安全と安心のために

分野	施策区分	施策の方向	施策 件数	達成度			
				S	A	B	C
差別解消・ 権利擁護	差別の解消、権 利擁護の推進	障害を理由とする差別 の解消への取組み	1	0	1	0	0
		権利擁護の推進	3	0	3	0	0
		虐待防止体制の整備	1	0	1	0	0
防災・防犯	防災・防犯対策 の推進	防災対策の推進	9	2	7	0	0
		防犯・安全対策の推進	3	0	3	0	0
合計		件数	17	2	15	0	0
		割合 (%)	100	11.8	88.2	0	0

まちづくりにおいて「安全・安心」は特に重視すべき課題となっており、今期計画において、「差別の解消・権利擁護の推進」及び「防災・防犯対策の推進」の2つは重点施策としても位置づけられている。

障害者が安全・安心に暮らせる環境づくりとして、障害者を災害や犯罪から守る取組を17施策を進めており、全ての施策について、ほぼ目標を達成しており、特に、Web119の普及や防火指導の実施については目標を上回る実績が得られた。

## 基本目標3 支援が必要な子どもの発達支援と保育・教育の充実のために

分野	施策区分	施策の方向	施策 件数	達成度			
				S	A	B	C
療育・保 育・教育	障害の早期発 見・早期対応	母子保健事業の充実	1	0	1	0	0
	切れ目のない療 育・教育体制の 確立	乳幼児期から学校卒業ま での一貫した療育・教育体制 の確立	9	1	7	0	1
	療育の充実	子どもの療育体制の充実	11	0	11	0	0
		発達障害などの啓発の推 進	2	0	2	0	0
	学校教育の充 実	特別支援教育の推進	4	0	3	1	0
		インクルーシブ教育シス テムの推進	3	0	3	0	0
		多様なニーズに対応する 教育の充実	2	1	1	0	0
合計		件数	32	2	28	1	1
		割合 (%)	100	6.3	87.5	3.1	3.1

乳幼児期から学校卒業までの一貫した療育・保育・教育体制の構築に向けた取組や、ともに学ぶ環境づくり、多様な学びの場の確保など 32 の施策に取り組んでいる。

重点施策の1つである「療育・保育・教育の切れ目のない支援」について、連携会議の実施には至っていないが、関係課との協議を行い、現状・課題の共有と今後の方針について協議を行うこととしている。その他、久留米特別支援学校における、卒業後一般就労した生徒の割合は目標を上回る実績となった。

#### 基本目標4 自立して暮らし続けるために

分野	施策区分	施策の方向	施策件数	達成度			
				S	A	B	C
雇用・就労	一般就労の促進	一般就労移行・定着への支援	8	1	6	1	0
	福祉的就労の充実	福祉的就労の場の確保	2	0	2	0	0
	就労支援の充実	就労に関する相談体制の充実	1	0	1	0	0
		職業能力の習得支援	1	0	1	0	0
		障害者優先調達推進に係る取組	2	0	1	1	0
		関係機関・企業などとの連携	1	0	1	0	0
生活支援	住まいの確保と居住支援の充実	住まいの確保	4	0	3	0	1
		居住支援の充実	4	0	2	2	0
	在宅福祉サービスなどの充実	日常生活の支援や介助サービスの充実	6	0	6	0	0
		レスパイトケアなどの充実	4	0	3	1	0
	外出支援の充実	外出支援サービスの充実	8	1	5	2	0
	経済的支援の推進	経済的支援の充実	3	0	3	0	0
	相談支援体制の充実	相談支援事業の推進	2	0	2	0	0
		多様な相談窓口の充実	3	0	1	2	0
保健・医療	保健サービスの充実	保健事業の充実	2	0	1	1	0
		心の健康づくりの推進	1	0	1	0	0
	医療サービスの充実	適切な医療サービスの提供	2	0	2	0	0
合計		件数	54	2	41	10	1
		割合 (%)	100	3.7	75.9	18.5	1.9

地域共生社会の実現に向け、障害者が自立して地域で生活することができる仕組み・体制づくりのため、54 の施策に取り組んでいる。

特に障害者が地域で自立して暮らすために必要な「住まいの確保と居住支援の充

実」と「在宅福祉サービスなどの充実」は重点施策として位置づけ、取組を進めているが、不動産業者への啓発や地域包括ケアシステムの構築を進めるための会議の開催には至っていない。

#### 基本目標5 生きがいを持って自分らしく生きるために

分野	施策区分	施策の方向	施策 件数	達成度			
				S	A	B	C
日中活動	日中活動の促進	日中活動系サービスの整備	3	0	2	1	0
		地域活動支援センターなどの充実	3	0	3	0	0
社会活動	スポーツ・文化活動の促進	スポーツ活動の促進	3	0	3	0	0
		文化活動の推進	1	0	0	1	0
	社会教育の充実	生涯学習の推進	5	2	2	1	0
		社会教育施設のバリアフリー化	1	0	1	0	0
	地域活動や国内外交流の促進	地域活動への参画促進	4	1	1	2	0
		国内外での交流促進	2	0	0	2	0
ボランティアなどの育成・活動促進	ボランティアなどの育成・活動促進	6	1	4	1	0	
合計		件数	28	4	16	8	0
		割合 (%)	100	14.3	57.1	28.6	0

様々な日中活動や、地域活動、スポーツ・文化活動、社会教育などへの参加促進及び参加に配慮した環境づくりなど 28 の施策に取り組んでいる。

特に地域の方々との関わりは重要であり「地域活動や国内外交流の促進」は重点施策の1つとしており、支え合い推進会議の設置などが進んでいるが、各種委員会への登用促進やイベント等の周知方法等を検討し、更なる参加促進に取り組む必要がある。